

# パキスタンにおける ビジネスチャンス

2020年10月

水江誠一

双日(株)カラチ駐在員事務所

# カラチ日本商工会

---

メンバー会社数： 25社

メンバー会社業種：

自動車/二輪：スズキ、トヨタ、ホンダ、日野、ヤマハ

GSユアサ、トヨタ紡織

商社：三菱、三井、住友、伊藤忠、丸紅、豊田通商、双日

ホンダトレーディング、伊藤忠丸紅鉄鋼、長瀬産業

銀行：三菱UFJ

建設：飛島

繊維：YKK、藤原

運輸：日本通運

食品：味の素

石油製品：出光興産

# パキスタン概要



面積 : 79.6万平方キロメートル (日本の約2倍)

人口 : 2億2,089万人 (2020年)

言語 : ウルドゥー語 (国語)、英語 (公用語)

主要産業 : 農業(さとうきび、小麦、米、コーン、綿花、生乳、肉類、果物)  
繊維産業

1人当たりGDP : 1,565米ドル (2018年)、1,388米ドル (2019年)

外貨準備高 : 約199億ドル (2020年9月時点) (輸入の約5.7か月分)

総貿易額 : 輸出 : 225億ドル、輸入 : 424億ドル (2019/2020年)

\* 在外パキスタン人からの郷里送金 : 231億ドル

主要輸出品目 :

輸出 : 繊維製品(約60%)、農産物・食料品、化学原料、非鉄金属

輸入 : 石油製品/原油/ガス、自動車・機械、化学品、食料品、パーム油

主要貿易相手国 :

輸出 : 米国、中国、英国、UAE、アフガニスタン、ドイツ

輸入 : 中国, UAE, シンガポール, サウジアラビア, インド, 日本

# 日本との貿易

---

- 1918年 日本綿花(現双日)が綿花買付を目的にカラチ支店設立。  
戦後 綿花を対日輸出、繊維機械を対日輸入、日本の繊維、機械産業の復興に寄与。  
1950年 東京銀行(現三菱UFJ銀行)がカラチ支店を設立。  
1960年代 日本製自動車、二輪車の輸出開始。  
1964年 ホンダがカラチにて技術提携による、2輪生産開始。  
1975年 スズキがカラチに合弁会社を設立、4輪、2輪生産開始。  
1989年 トヨタがカラチに合弁会社を設立、4輪生産開始。  
1992年 ホンダガラホールに合弁会社を設立、4輪生産開始。  
1990年代 紡績設備増設、IPP発電所建設ブーム  
2018年 自動車販売25.5万台、二輪車販売210万台達成。



日本の対パ輸出(1,351億円、2019年度)：

自動車/二輪(409億円)、機械(316億円)、鉄鋼製品(195億円)、合樹/化学品/その他(292億円)

日本へ対パ輸入(331億円、同上)

繊維製品(140億円)、化学原料(64億円)、果物/魚介類等(19億円)、非鉄製品(14億円)

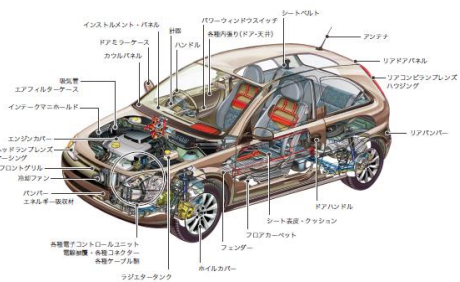
双日の取扱品目：

対パ輸出-繊維機械、自動車、発電/肥料/セメント設備、化学繊維、合樹/化学品

対パ輸入-食品原料、化学品



# 期待されるビジネス



## ■ 自動車/二輪部品

人口2.2億人超、自動車50万台、二輪車400万台を見据えた需要拡大

## ■ 合成樹脂、化学品

自動車、二輪向け、家電、靴産業等向け等需要拡大

## ■ 繊維製品

ホームテキスタイル、ボトムに強み、多くが欧米向け輸出、日本向け課題

## ■ 魚介類(マグロ、イカ、エビ)、乳製品、果物(マンゴ等)、ピンクソルト

加工、品質管理、国内外の輸送方法が課題

## ■ スポーツ用品(ボール、グローブ、道着)

サッカーWCのボールはパキスタン製

## ■ 手術道具(メス等)

欧米日向けに輸出、日本向け拡大期待

## ■ IT関係

IT企業推定5,000社、IT知識を持つ技術者30万人、年間2万人卒業生有り

# パキスタンでのビジネス、生活実感

---

## ◎ 親日的な国民性

- ・ 自動車は95%以上、二輪車はほぼ100%が日本ブランド
- ・ 古くからのパ日関係あり、企業オーナーに日本員が多い
- ・ 日本の製品、技術、商習慣への敬意、理解がある
- ・ 信頼出来る企業オーナーが多い（契約、支払い、問題解決等）
- ・ 優秀な技術者が多い（中東の技術者の多くがパキスタン出身）

## ◎ 制約はあるが対応可能な生活環境

- ・ 安全性の高い住宅、警備付き自動車移動で適切な安全を確保
- ・ 比較的規模の小さい日本人社会で緩やかな連帯有り
- ・ 1971年創立の日本人学校有り、家族帯同で赴任出来る環境
- ・ ゴルフ、テニス、ソフトボール、ランニング等、余暇活動有り





有難う御座いました。  
ぜひパキスタンでのビジネスを  
ご検討下さい。